



令和7年1月31日
室蘭開発建設部



北海道で初めて『かわまち大賞』に

平取町が選ばれました

～平取町による「かわまちづくり」が表彰されます～

『かわまち大賞』は、全国で進められている「かわまちづくり」（286か所）の中から、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰するものです。

このたび、令和6年度の大賞に「平取町かわまちづくり」が北海道で初めて選ばれましたので、お知らせします。

平取町は「かわまちづくり支援制度」を活用して、平成21年度から地域やアイヌ文化の振興・保全や、これら文化と結びついたヨシ原の再生・保全等のために河川空間を明確に位置づけた取組を進めており、このたび、有識者による審査委員会を経て、令和6年度の『かわまち大賞』に選ばれました。

1) 表彰式

日時 令和7年2月6日（木） 16時30分～16時45分頃

場所 国土交通省 国土交通大臣室（予定）

（東京都千代田区霞ヶ関2-1-3 中央合同庁舎3号館）

※ 詳細は以下の本省プレスリリースをご参照ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000257.html

2) 平取町かわまちづくり動画

取組及び評価は、「別紙①」及び下記動画をご覧ください。

<https://youtu.be/UZx3L-g8Erw>

3) これまでのかわまち大賞受賞地域

『かわまち大賞』は平成30年度の創設以降、これまで12か所が選定されています。

<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/taisyo.html>

4) 添付資料

別紙①：受賞箇所の取組及び評価

参考①：「かわまち大賞」の概要

参考②：かわまちづくり支援制度の概要

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話(ダイヤル) 0143-25-7045

治水課 課 長 中村 洋祐 (内線 291)

治水課 上席治水専門官 花山 知志 (内線 300)

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>

平取町 アイヌ施策推進課 電話(代表) 01457-2-2221

課 長 木下 正人





びら とり ちょう

平取町かわまちづくり

【題名】 沙流川の歴史と文化遺産を活かした賑わいづくり

【河川】 沙流川水系・沙流川（一級河川）



かわまちづくりの概要

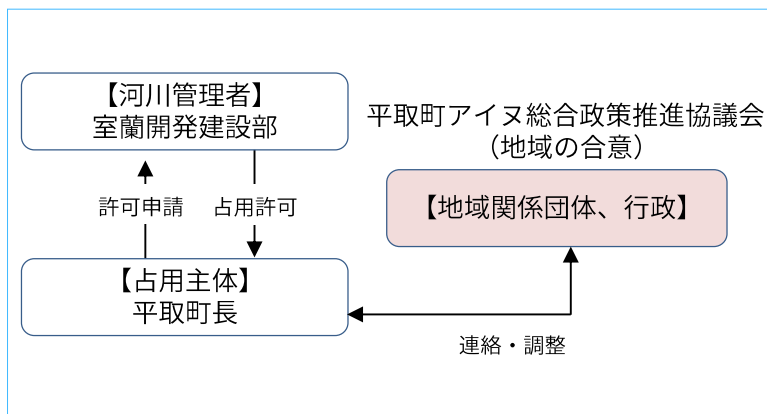
- ・河川敷をアイヌ文化の有用植物（カヤやガマ）の生育箇所として基盤整備し、町が移植作業を行い、カヤは伝統的住居「チセ」の材料として、ガマは民具の素材として活用している。また、フットパスや河岸の整備によりチササンケ（舟おろしの儀式）体験等のイベントを開催し、アイヌ文化を活かしたかわまちづくりに取り組んでいる。
- ・各分野の多様な主体が参入しアイヌ文化を学習する研修プログラムや定期的なイベント等の活動を実施しており、近年では活動の場を海外にも広げている。
- ・環境整備により終日体験プログラムの実施が可能となり、来訪者数の増加や滞在時間の向上につながっている。

評価のポイント

- ・地域や住民の文化の振興・保全や、これら文化と結びついたヨシ原の再生・保全等のために河川空間を明確に位置づけた、かわまち大賞として初めての取組であり、全国の河川空間の参考となることが期待される。
- ・地域や住民の文化遺産に不可欠な有用植物（カヤやガマ）の再生やその植物を用いた伝統的な建築様式の維持・継承など、河川空間のオープン化等の制度を活用し、民間事業者の恒久的な参入を得ながら、継続的に活動を実施している。
- ・世代を超えて地域や住民の文化が継承されるよう、町の「平取町アイヌ施策推進地域計画」に位置づけた上で、チセづくりの復元技術等を若い世代の担い手に継承するとともに、河川空間を効果的に活用している。

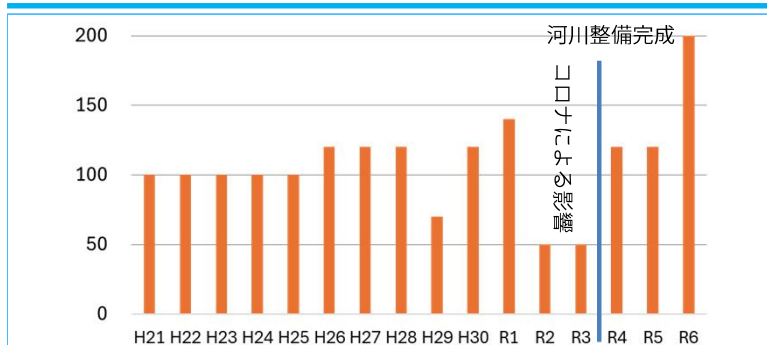
体制

- ・平取町アイヌ総合政策推進協議会



管理運営体制図

効果



チフ（丸木舟）の乗船体験者数

問合せ先：平取町アイヌ施策推進課

TEL：01457-2-2341

E-Mail：ainu.shisaku@town.biratori.lg.jp

- ◆ 河川空間を活用し、地域の賑わいを創出した、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰し、その取組を全国に周知します。
- ◆ 取組団体を讃えらるとともに、「かわまちづくり」支援制度を浸透させ、民間事業者の参入を促進し、民間事業者のもつ「ノウハウ」等を活かした質の高い「かわまちづくり」を目指します。

かわまちづくり支援制度への登録
(R6年8月時点:286か所)

応募

<供用済>

箇所 A

箇所 B

<一部供用>

箇所 C

箇所 D

<未供用>

箇所 E

箇所 F

募集対象

有識者で構成する

「審査委員会」

※建築・都市史、観光、地域政策、都市計画の分野の有識者で構成
※表彰まで委員名簿は非公開

審査
選定

国土交通大臣による

「表彰」

※受賞された応募主体に対し、表彰式を実施。

「かわまち大賞」のねらい

『かわまち大賞』
表彰・周知

新規登録
計画変更

<募集対象>

「かわまちづくり」計画が登録されている286か所のうち、計画に基づく、全部又は一部が供用している箇所のうち、取組によって、地域のニーズに応じた利活用が図られ、地域活性化に一定の成果を上げている箇所を対象とします。



かわまちづくり支援制度の概要

かわまちづぐりウェブサイト: <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/index.html>